

イモリ しんぶん

発行日：2021年 10月 26日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

アカハライモリ、陸へ向かう

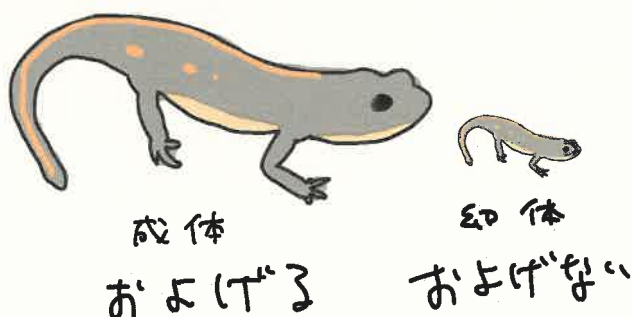
アカハライモリの幼生は成長し、大人のからだと同じ形（幼体）になると、陸上生活を始めます。



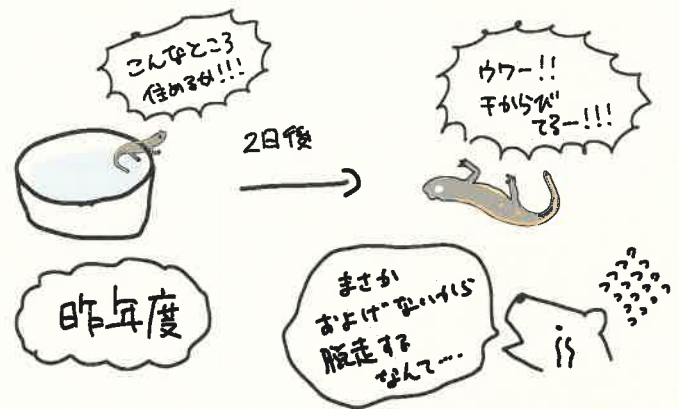
エウの呼吸 肺の呼吸

昨年度は、アカハライモリが幼生から幼体へ成長し、陸上生活を始める際の切り替えがうまくいかず、多くのイモリたちが死んでしまいました。最初は、なぜその切り替えがうまくいかないのかが分からず途方に暮れていましたが、原因を調べていくと、驚くべきことがわかりました。

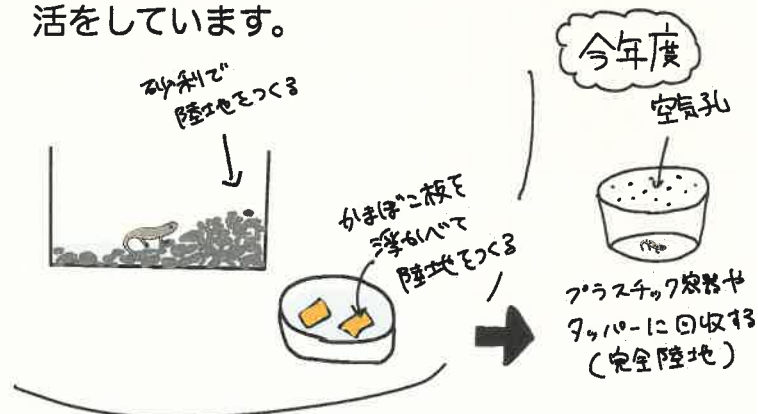
幼体になりたてのアカハライモリは泳げないので、陸地を用意しないと溺れる。



イモリが泳げないということは全く頭になかったので、気付くのが遅くなり、昨年度はたくさんのアカハライモリを死なせてしまいました。アカハライモリは自分の周りに陸地がないと、飼っている容器から脱走し、新天地を目指します。そのため、干からびたアカハライモリが掃除中に発見されるということがしばしばありました。



今年度は、飼育容器の中に陸地をつくったり、見回りを強化して上陸しそうなアカハライモリを水から引き上げるなどの対策をしました。それにより、溺れて死んでしまうアカハライモリが減りました。現在は60匹以上のアカハライモリたちが陸上生活をしています。



次回 上陸編その2